

訓練の様子と各工法の説明

積み土のう工法

河川の増水により、水があふれている箇所やあふれそうな場所に土のうを積み上げて越水を防ぐものです。土のうは、ポリエチレン製の袋に土砂を入れ、下流から順に並べていきます。

また、増水の高さによって積み上げる袋の数を変えていきます。



作業中の様子



工法点検(確認)

鋼板防護(こうはんぼうご)工法

水があふれている箇所やあふれそうな場所に薄い金属板と、鉄パイプ製の支柱を用いて越水を防止するものです。鋼板は、支柱の数や長さにより左右に長くしたり、2段以上に重ねることができます。



作業中の様子



工法点検(確認)

改良積み土のう工法

積み土のう工法と同様に、水があふれている箇所やあふれそうな場所に土のうを積み上げて、越水を防止するものですが、積み上げた土のうにビニールシートを巻くことにより、防水性能を高めています。



作業中の様子



工法点検(確認)

連結水のう工法

チューブ状の水のうの中に水を入れ、重ねて使用することにより、越水を防ぐものです。水のう一つの長さは15mですが、増水箇所の長さに応じて繋いでいくことができます。



作業中の様子



工法点検(確認)

排水ポンプの使用

排水ポンプは、浸水した地下構造物などの排水をするため、エンジンとポンプが一体化したものを使用しています。

また、状況に応じで、電動式の水中ポンプを使用して、速やかに安全を確保することとしています。



作業中の様子